

■2群 (画像・音・言語)

9編 音楽情報処理

(執筆者：片寄晴弘) [2011年6月 受領]

■概要■

音楽情報処理とは、コンピュータと音楽とがかかわり合うあらゆる場면을対象とした研究領域である。この領域では、生成、聴取、記録・流通、更に細かく言えば、作曲や編曲、演奏など、様々な側面をもつ音楽を対象としたプロセスの支援、あるいは、代替としての研究対象が存在する。ほかの多くの技術領域では、その領域の基盤とした理論や技術体系を中心に説明できるのに対し、この領域においては、横糸的に存在する「音楽」に対して、様々なアプリケーションが存在し、それらを支える様々な要素技術が存在するというかたちで俯瞰できる。

【本編の構成】

音楽には、もちろん、リズム、メロディ、ハーモニーという三要素が存在し、また、そのベースには音響信号がある。この基軸において、現在の音楽情報処理の現状を説明することは、もはや不可能である。本編では、第1章「基礎・境界」において、音楽情報処理全般に関連する用語や動向について説明する。第2章「技術・アプリケーション」では、具体的な応用分野を対象として、技術説明を行う。

【4編 知識ベース委員会】

編主任：片寄晴弘 (関西学院大学)

編幹事：平田圭二 (はこだて未来大学)

後藤真孝 (独立行政法人 産業技術総合研究所)

執筆委員：津崎 実 (京都市立芸術大学)

平賀 譲 (筑波大学)

梶 克彦 (名古屋大学)

鈴木健嗣 (筑波大学)

平井重行 (京都産業大学)

北原鉄朗 (日本大学)

森勢将雅 (立命館大学)

亀岡弘和 (東京大学/日本電信電話株式会社)

武田晴登 (ソニー株式会社)

吉井和佳 (独立行政法人 産業技術総合研究所)

小坂直敏 (東京電機大学)

中野倫靖 (独立行政法人 産業技術総合研究所)

橋田光代 (相愛大学)

竹川佳成 (神戸大学)